

日本G P 第3戦

第51回 織田幹雄記念国際陸上競技大会
兼 第16回世界陸上選手権大会(2017/ロンドン)代表選手選考競技会

報道・放送取材要項

期　　日　　2017年4月29日（土・祝）

場　　所　　広島広域公園陸上競技場（エディオンスタジアム広島）

一般財団法人広島陸上競技協会

報道取材要領

受付

- ・報道関係者の受付は、29日（土・祝）9時00分から、メモリアルホール前で行います。受付で資料、IDカード、記録配付用かご、ビブス（カメラの方）をお受け取りください。
- ・プレスルームは100mフィニッシュ付近に設けています。

取材

- ・自社腕章・IDカード・ビブス（カメラ）着用の上、所定の場所で取材をしてください。
- ・ミックスゾーンでの取材は、選手・競技役員に支障のないようにお願いします。

記者の方へ

- ・受付で、IDカードと記録配付かごを受け取り、プレスルーム・記者席で観戦・取材をしてください。
- ・記者席はメインスタンド100mフィニッシュ付近に設けています。
- ・資料・記録等は、記者席の配付かごと、プレスルームにも配布します。
配付かご、IDカードは、お帰りの際、受付に返却してください。
- ・本部ゾーンには立ち入らないでください。
- ・インタビュールームでの共同インタビュー希望については、記者席役員に申し込みください。その他については、選手の承諾を得て競技場外で行ってください。フィールド内でのインタビューはご遠慮ください。
- ・ペンの方は、取材エリアでインタビューを行ってください。その際、短時間でお願いします。
- ・フラッシュインタビュー順序は①NHK②テレビ③ペンの順です（ミックスゾーン内でお願いします）。

カメラの方へ

- ・スタンドからの取材は、自社腕章・IDカードで取材ができます。
- ・スタンドからの取材は、観客の迷惑にならないよう配慮してください。
- ・インフィールドの取材は、ビブスが必要です。白色はNHK、赤色はその他カメラ・テレビとします。

在広テレビ局にはNHK放送分を分岐します。各局からのテレビカメラ取材は「系列を含めて3台（ハンディとリモートカメラを含む）まで」とします。

- ・インフィールドの取材は、一脚又は手持ちで低い姿勢で撮影してください。三脚の使用はご遠慮ください。

- ・インフィールドの取材は、別紙カメラ取材可能範囲内で取材をしてください。
運営状況により取材可能範囲を移動する場合もありますのでご了承ください。
- ・跳躍競技とスタート・フィニッシュ付近での撮影については、当日現地にて説明します。
- ・スタート直後の撮影は、不正スタートの原因になりますのでご遠慮ください。
- ・競技役員の視野を妨げる位置や記録表示器の前での撮影は、ご遠慮ください。
- ・表彰式の撮影は、その瞬間のみビブスを付けたカメラマンの撮影を認めますが、撮影後は直ちに表彰台付近から離れてください。
- ・IDカード、ビブスは、お帰りの際、受付に返却してください。
- ・ペンの方は、取材エリアでインタビューを行ってください。その際は、短時間でお願いいたします。
- ・フィールド（跳躍・投擲）内の撮影は、一脚又は手持ちで低い姿勢で撮影してください。
三脚の使用はご遠慮ください。また、テレビカメラは、クルー（3人）では、入れません。
赤ビブスを付けたカメラマンのみフィールド内に入り、撮影してください。
- ・広告看板（スポンサー看板）の前での、撮影はできません。

その他

- ・記者席の電話回線は、自社で行ってください。
- ・ファックスは、ありません（事務所のファックスは、使用できません）。
- ・パソコン使用について：電源コードは、各自でご持参ください。
- ・プレスルームの終了時間は、次のとおりとさせていただきます。

29日(土・祝)21時00分

- ・ウォーミングアップエリアでの取材・撮影は、原則禁止といたします。前日練習時も同様です。
- ・本部ゾーンでの取材・撮影は、原則禁止といたします（特に、表彰待合室付近について）。

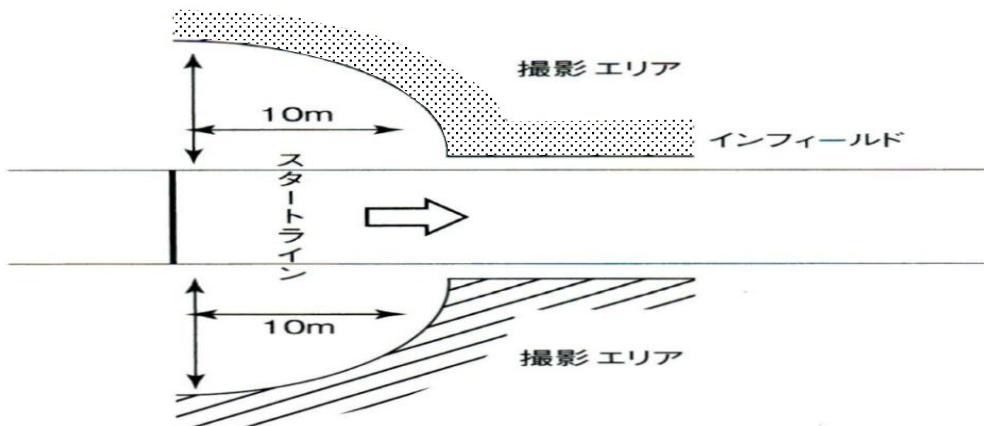
注目選手の共同記者会見について

実施いたしますが、選手・日時・場所等については未定です。決まり次第連絡いたします。

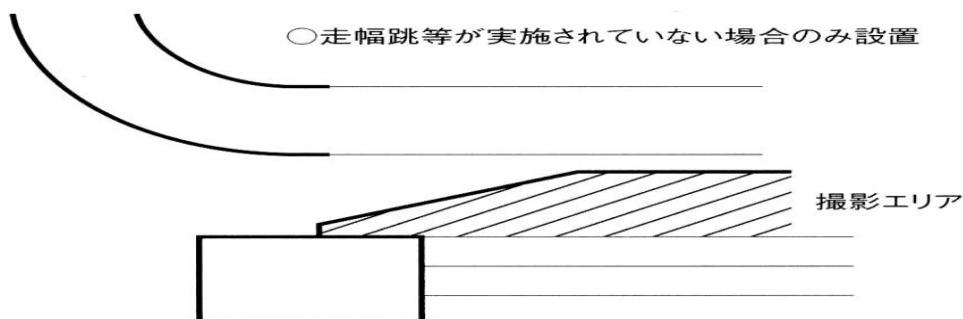
カメラ取材可能範囲

斜線部分が赤色・白色ビブスの取材可能範囲です。

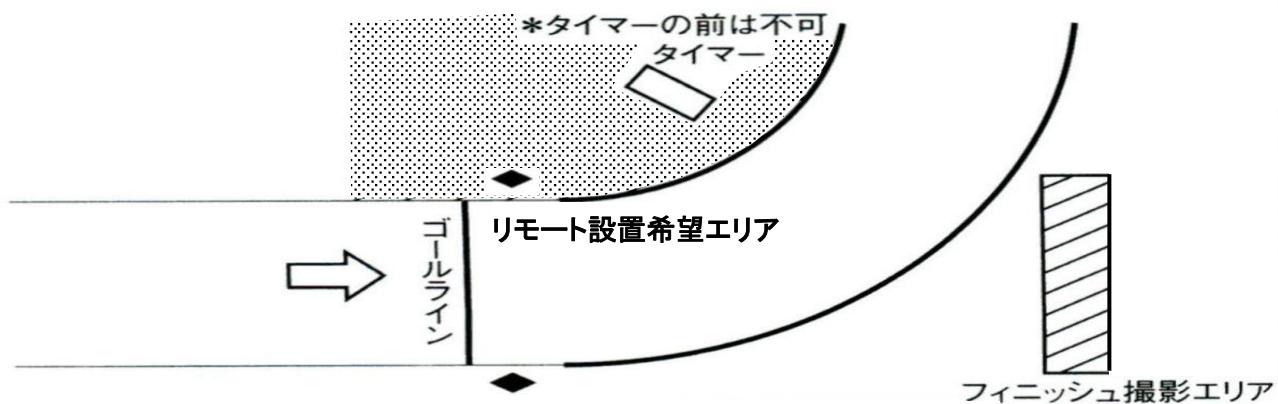
スタート地点 図中の の部分は事前に報道係に許可を得た上で撮影を行ってください。



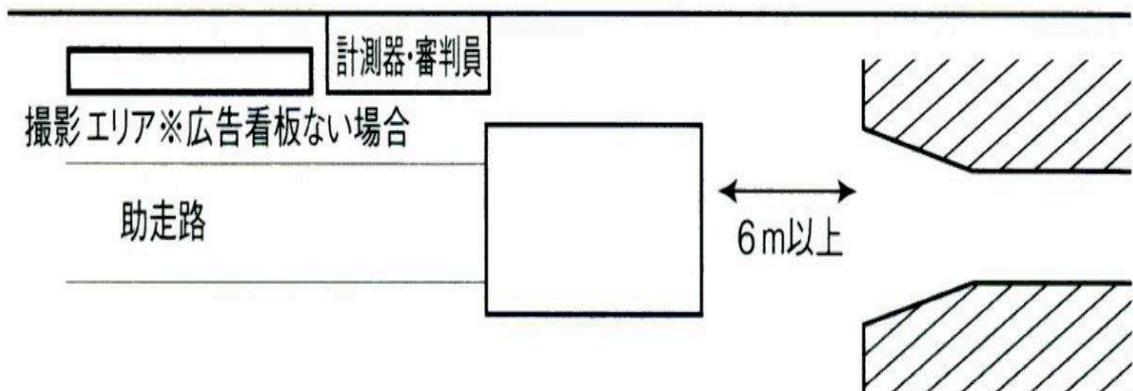
リレー / 200 m / 400 m エリア



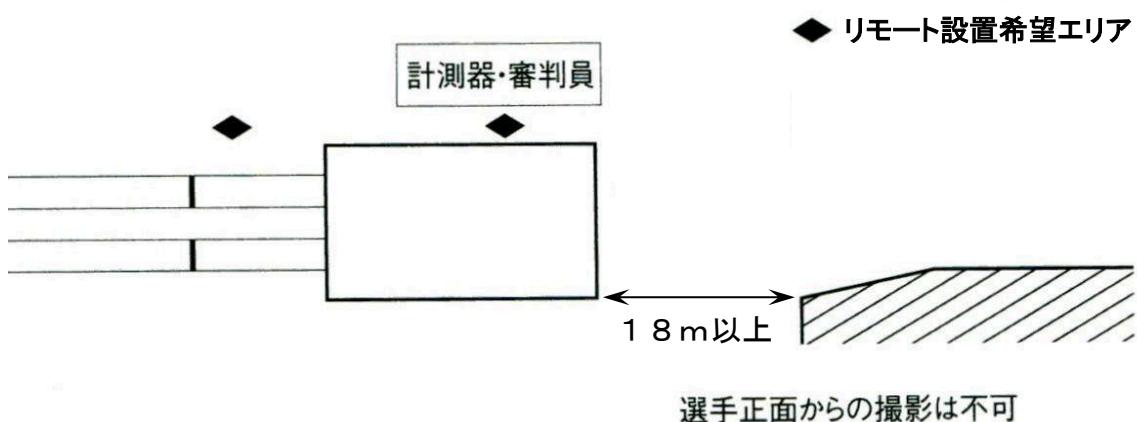
フィニッシュ地点



棒 高 跳(アウトフィールドピット)

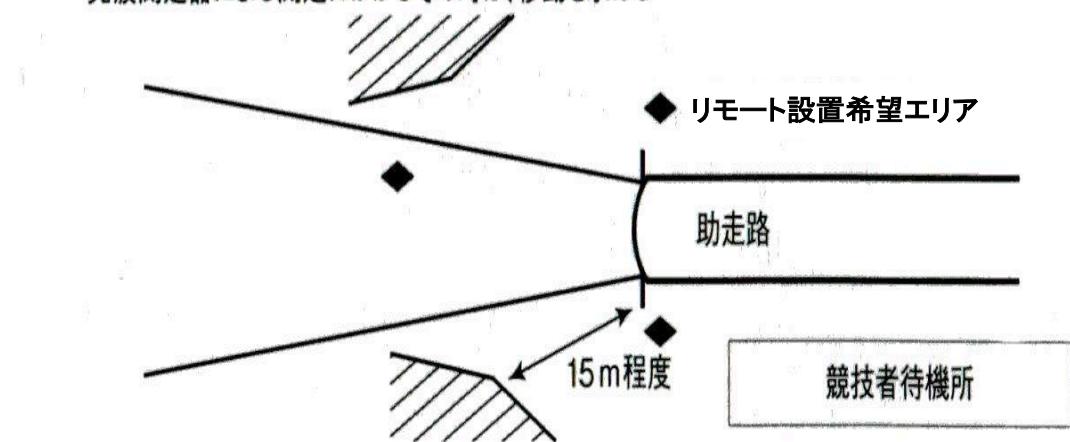


走幅跳／三段跳(アウトフィールド)



やり投

光波測定器による測定にかかる時は、移動を求める



ハンマー投

防護ネット等を利用し
弧の外の撮影を可能にする

撮影エリア ※ゲージの開き方で調整

右投、左投で危険区域が変わるので注意

リモートカメラ設置
希望エリア (シニア大会)

危険区域

サークルからのエリア設置距離は、出場競技者のレベルに合わせ、
ハンマー落下付近は避ける

【表彰台付近】

走幅跳・三段跳助走路

